

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
刈谷駅周辺地区

平成22年5月

愛知県刈谷市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	人	19,464	20,400	24,536	確定 見込み ●	○	あり なし	29,036	H21年6月	○	南北連絡通路の南側延伸部分の開通と、商業施設の集客によるもの <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅周辺への複合施設の整備により、利便性が向上した。	
指標2	m ²	101,000	121,000	113,694	確定 見込み ●	△	あり なし ●	122,105	H21年12月	○	オフィスビルの新築やホテルの改築により、そのテナントとして銀行や店舗が進出した。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ビジネスホテルやオフィスビルの建設需要を生んだだけでなく、刈谷駅周辺では空き店舗が生じても、すぐに新しい店舗が入るなど、活気がある。	
指標3	人	4,714	5,000	4,934	確定 見込み ●	△	あり ● なし	4,804	H22年1月	△	景気低迷による社会動態における伸び悩み <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都心機能の集約が進んだことによる効果が見られたが、今後は更なる「良好な住環境」の充実を含めた、民間活力による市街地整備の誘導も必要。	
指標4	台	898	500	714	確定 見込み ●	△	あり なし ●	646	H22年4月	△	刈谷駅南口では順調に減少したが、北口の駐輪場周辺において面整備を行っており、利用上の不便さがあつた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅近接地の駐輪場整備により、その区域では放置自転車数は減少傾向であつたが、人口増加に伴う自転車利用の需要を再計測し、新たな駐輪場の確保が必要である。その一方で、駅北口の工事を早期に完了させる必要がある。	
指標5	人	1,440	2,160	2,668	確定 見込み ●	○	あり なし	2,522	H21年12月	○	駐輪場や駅へのアクセス路線の改築効果により目標値を越えることが出来たが、定住人口の伸び悩みが影響を与えた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	評価値に及ばなかったものの、駅周辺への都市機能の集積とアクセス改善の相乗効果により、過度に車に依存しない環境が整いつつある。	
指標6	%	33.9	100	100	確定 見込み ●	○	あり なし	100	H21年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市景観の向上、歩行空間における快適度が向上した。	
指標7	人/年	736,000	883,000	904,427	確定 見込み ●	○	あり なし	1,182,945	H22年4月	○	施設の利便性が向上しただけでなく、遊具のリニューアルも併せて集客数アップに貢献した。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本施設は、某シンクタンクの調査において、東海3県主要集客施設年間集客数で毎年20位前後に位置する施設であり、施設全体のリニューアルにより市内外にその魅力が発信された。	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	商業地としての賑わいの持続	駅前商店街の特色(=飲食店が多い)を活かしたイベント(カリアンナイト:3,000円で5店舗はしご!)を実施し、リピーターの増加を図るとともに、特色を市内外にPRした。	イベント参加者が回を追うことに増えているとともに、満足度も95%を超え、次回実施への期待度も高い。	近隣の都市において同様の事業を展開し始めたことによって、今後、独自性や継続について検討が必要。
	市の玄関口として、さらに魅力ある景観を目指し、今後も持続して景観づくりへ取り組む	刈谷駅南口再開発事業が平成21年10月に完了し、駅近接地における駐輪場の整備も完了した。 一方、刈谷駅北口では都市緑化を意識した整備を実施中。また、違反広告物の除去活動を行った。	刈谷駅南口の景観が一新され、風紀を乱すビラが減り、明るい雰囲気が出ている。それらにより南北を行き来する人の流れが増加した。	刈谷駅北口にて実施している事業の早期完了。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	未完了事業の早期完了による、商業地としての賑わい向上と駅前地区の景観向上	刈谷駅南口再開発事業が平成21年10月に完了し、駅近接地における駐輪場の整備も完了した。	刈谷駅南口の都心的な景観と北口の界隈性のある景観というように、南と北で地域に合った特色のある都市空間が形成された。	ハード整備だけでなく、来街者を心地よく迎え入れることができるよう、地域住民などが主体となる景観向上(地区計画によるルール作りや植栽など)などの取り組みが必要。
	地区全体のバリアフリー化と放置自転車数のさらなる減少による快適な歩行者空間の確保	刈谷駅南口再開発事業区域周辺や公共施設周辺道路のバリアフリー化を行った。 また、駅南口近接地において駐輪場を整備した。	歩車分離や電線類地中化、駐輪場の整備により、快適な歩行空間を確保することで公共施設へのアクセスが改善された。	事業期間の長期化などによる整備コストの増加を抑えるため、歩車分離についてはこれまでの物理的な整備だけでなく、視覚的な施工も取り入れる。また、自転車利用者の需要予測から収容台数を確保できる駐輪場の整備が必要。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
刈谷駅周辺における土地の高度利用を促進する。	刈谷駅周辺の未利用地について、民間開発等を誘導し、中心市街地としてふさわしい、更なる機能集積や良好な都市環境を整備する。	平成21年～平成25年	リーマンショック以来の経済状況が低迷しているなかで、民間開発に対する機運が低下してしまうこと。
道路や施設の歩行者環境を改善する。	整備済みの道路と連続性のある道路を優先的にバリアフリー環境を整備する。	平成21年～平成25年	様々な機関や地権者等の調整のなかで、柔軟かつスピーディーな対応が求められる。

都市再生整備計画 (精算版)

かりやえきしゅうへんちく
刈谷駅周辺地区

あいち かりやし
愛知県 刈谷市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	刈谷市	地区名	刈谷駅周辺	面積	107.2 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標
 中心市街地における都心機能の整備による賑わいの創出(再生)

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 刈谷市は、地理的には愛知県のほぼ中央に位置し、歴史的には、古くは城下町として商業、農業を中心に繁栄してきましたが、明治21年に東海道本線が開通し、刈谷駅が設置され、大正3年には現名鉄三河線が開通するなど、交通の要衝として発展し、地方商業都市的色彩を濃くしてまいりました。大正末期にはトヨタ系企業の誘致により近代産業都市としての足がかりを得るとともに、積極的な工業化施策を推進してきました。モータリゼーションの進展は、市内工業のめざましい発展と経済基盤を強化する一方で、社会・経済環境に大きな変革をもたらしました。交通の重要な地点として、また工場労働者の消費需要に支えられ、活気を呈してきた中心商業地は、都市基盤の整備の立ち後れから、車社会に十分対応しきれず、商業機能の郊外化や消費者ニーズの変化等が相まって、その機能が低下してきています。

課題
 ・西三河地域の産業・文化・交流(広域生活)拠点形成には、集客性が高く、中心市街地の新しい魅力となる複合機能の整備が不可欠である。そのため、低未利用敷地等の有効活用や再開発を可能とする条件整備が重要である。
 ・拠点地区及びその周辺地区の開発に伴う交通需要に対応するため、道路、歩行者環境など交通機能の強化とバリアフリー化を図る必要がある。
 ・中心市街地における既存商店街の機能強化及び近代化により、商業地としての面的な賑わいと魅力向上を図る必要がある。特に、企業群に隣接する商店街における企業従事者へのサービス提供機能の整備・充実は重要な課題である。
 ・多くの人々が交流する本市の玄関口として、本市のアイデンティティを感じさせる個性的で魅力ある駅前地区の景観を形成する必要がある。

将来ビジョン(中長期)
 駅周辺の低未利用地や空洞化は、本市の都市機能の低下を引き起こしているため、本地区の整備により『第6次刈谷市総合計画』及び『刈谷市中心市街地活性化基本計画』に基本構想として挙げているように、市全体のポテンシャルと中心市街地の求心力を高め、連担する商業・業務・住宅地の整備・活性化を促進します。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
駅南北連絡通路利用者数の増加	人	連絡通路利用者調査(10時間 H16.5.11 9:00~19:00)	賑わいの創出等により連絡通路利用者の増加を図る。	19,464人	平成16年度	20,400人	平成20年度
商業床(のべ床面積)の増加	m ²	都市計画基礎調査データ H15	再開発事業等により誘発し商業床の増加を図る。	101,000m ²	平成15年度	121,000m ²	平成20年度
定住人口の増加	人	住民基本台帳 H16.1.1	公営住宅整備、再開発事業による定住人口の増加を図る。	4,714人	平成15年度	5,000人	平成20年度
放置自転車数の減少	台	放置自転車実態調査 H15	駐輪場整備により放置自転車の減少を図る。	898台	平成15年度	500台	平成20年度
快適な歩行者エリアの確保	人	交通量調査(歩行者・自転車 H16.5.11 12時間 7:00~19:00)	駐輪場整備によって放置自転車の減少を図り、快適な歩行者エリアを確保する。	1,440人	平成16年度	2,160人	平成20年度
高須線のバリアフリー化の向上	%	『重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準』によるバリアフリー化率 H16.5	高須線街路新設改良事業によりバリアフリー化率の向上を図る。	33.9%	平成16年度	100%	平成20年度
交通児童遊園の利用者数の増加	人/年	年平均利用者調査 (H8~H15)	交通児童遊園の改修工事により利用者数の増加を図る。	736,000人/年	平成16年度	883,000人/年	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・刈谷駅南地区再開発により建設される市民ホール、生涯学習センター、商業施設、駅前広場等及び刈谷市交通児童遊園の整備により、集客性が高く、賑わいのある中心市街地の魅力となる機能を整備し、新しい都市空間の形成を図る。</p>	<p>・公益施設保留床取得事業(地域交流センター) ・刈谷駅南地区第一種市街地再開発事業 ・刈谷市交通児童遊園施設整備事業 ・刈谷市中心市街地活性化推進事業</p>
<p>・刈谷駅周辺の道路整備を行うことにより、新たに発生する交通需要に対応すると共に歩行者環境を向上させ、全般的な交通機能の強化とバリアフリー化を図る。</p>	<p>・都市計画道路高須線街路新設改良事業 ・刈谷駅南北連絡通路整備事業 ・刈谷駅南地区第一種市街地再開発事業 ・刈谷駅南北連絡道路</p>
<p>・自転車駐輪場を整備し、刈谷駅周辺の放置自転車を減少させ、歩行者空間や景観の阻害を解消させると共に新たな駐輪需要の増加に備える。</p>	<p>・刈谷駅北口駐輪場整備事業 ・刈谷駅南口駐輪場整備事業</p>
<p>・駅周辺の利便性を最大限に享受できる都市型住宅を整備し、都心居住の拡充を図る。</p>	<p>・住吉住宅建替事業 ・刈谷駅南地区第一種市街地再開発事業</p>

その他

本都市再生整備計画は、中心市街地の都市機能の分散化に伴い地域の平準化が進み都市イメージが希薄となっている課題を改善し、多様な人々が交流できる魅力的で都市のアイデンティティを感じさせる本市の玄関口となる地区を形成するため、市民と共に新たな都市機能の整備をめざすもので、整備地区は刈谷駅を中心とする概ね歩行距離圏域(約500m)である本刈谷駅周辺地区を位置付けるものです。また、刈谷駅周辺地区はJRと名鉄の刈谷駅での総乗降客数が5万人/日を超える市のターミナル拠点として、多くの市民、通勤・通学者、来街者が集まる場所でもあります。現在これらの通過するだけの多くの人々もこの整備計画により引きつけ街の賑わいを創出し、更なる商業、業務、サービス、都心住宅施設を誘発し都市機能の集積をはかり都市の顔となる中心拠点の形成を図るものです。

そうした中でまちづくりの目標の達成に向けて、交付期間中の計画管理として随時数値目標達成状況等のアンケート調査等を行っていきます。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,446	交付限度額	978.4	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路		(都)高須線	刈谷市	直	L=270m	16	20	16	20	453	453	453	453	
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設	刈谷駅南口自転車駐車場	刈谷市	刈谷市	直	-	19	19	19	19	109	109	109	109	
	刈谷駅北口自転車駐車場	刈谷市	刈谷市	直	-	16	20	16	20	594	594	594	594	
	刈谷交通児童遊園	刈谷市	刈谷市	直	-	20	20	20	20	160	160	160	160	
高質空間形成施設		-			-									
高次都市施設		-			-									
既存建造物活用事業		-			-									
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備	住吉住宅	刈谷市	刈谷市	直	107戸	17	20	17	20	1,130	1,130	1,130	1,130	
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,446	2,446	2,446	0	2,446

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業													0
事業活用調査		-			-								0
まちづくり活動推進事業		-			-								0
合計										0	0	0	0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		
市街地再開発事業(公益施設)分担金事業	刈谷駅南地区市街地再開発事業	刈谷市	国土交通省	-		○			15	20	849	※施行・都市再生機構
市街地再開発事業(商業施設)	刈谷駅南地区市街地再開発事業	刈谷市	国土交通省	-			○		16	18	3,058	※施行・都市再生機構
市街地再開発事業(住宅施設)	刈谷駅南地区市街地再開発事業	刈谷市	国土交通省	126戸			○		17	18	2,690	※施行・都市再生機構
高次都市施設	地域交流センター	刈谷市	国土交通省	-			○		15	21	14,855	※施行・都市再生機構
まちづくり活動推進事業	中心市街地活性化推進事業	刈谷商工会議所	-	-			○		13	16	27	
道路	南北連絡道路南伸整備事業	刈谷市	-	L=140m			○		16	20	81	
道路	刈谷駅南北連絡通路	刈谷市	-	L=172m			○		16	17	51	
道路	(都)高須線	刈谷市	-	L=270m			○		16	20	190	
地域生活基盤施設	刈谷交通児童遊園	刈谷市	-	2.3ha			○		17	20	959	
地域生活基盤施設	刈谷駅北口自転車駐車場	刈谷市	-	平面式476台			○		18	18	22	
合計											22,782	

合計(A+B) 2,446